

マリコとオペラ!

～作家 林真理子のトーク・コンサート～

ああ、オペラって楽しい!

林真理子セレクトによる
珠玉のオペラ・アリアと
魅惑のクロストーク



林 真理子 [トーク]



© NIPPON COLUMBIA

© FUKAYA Yoshinobu

小林 沙羅 [ソプラノ]

望月 哲也 [テノール]



河野 紘子 [ピアノ]

2022.1.29 [土]

14:00開演(13:00開場)

サラマンカホール 岐阜市藪田南5-14-53

全席指定 **S** 5,000円 **A** 4,000円

[サラマンカメイト **S** 4,500円 **A** 3,600円]

学生半額 (30歳まで) ※未就学児の入場はご遠慮ください。

※A席・学生席・車いす席は、サラマンカホールチケットセンターのみの取り扱いです。

PROGRAM

ブッチーニ：歌劇「ジャンニ・スキッキ」より“わたしのお父さん”

ブッチーニ：歌劇「トスカ」より“星は光りぬ”

ブッチーニ：歌劇「ラ・ボエーム」より“冷たき手を”

ブッチーニ：歌劇「ラ・ボエーム」より 二重唱“愛らしい乙女よ”

カタラーニ：歌劇「ラ・ワリー」より“さよなら故郷の家よ”

ブッチーニ：歌劇「トゥーランドット」より“誰も寝てはならぬ” ほか

サラマンカメイト先行発売:2021年10月4日[月]/一般発売:10月11日[月] ※ 電話・インターネット 9:00～、窓口 12:00～の受付とさせていただきます。 主催:サラマンカホール

チケットのお求め

サラマンカホール チケットセンター | **058-277-1110**

チケットぴあ t.pia.jp 0570-02-9999 Pコード: 200-958
イープラス eplus.jp Famiポート

チケットのネット予約は公式サイト「サラマンカ・オンラインチケット」で

サラマンカホール 検索

新型コロナウイルス感染症対策へのご協力をお願い

<p>常時マスク着用</p> <p>マスク未着用の方はご入場できません。</p>	<p>手指消毒・手洗い</p> <p>咳エチケットにもご協力ください。</p>	<p>周囲の方との距離</p> <p>1m以上</p>	<p>検温にご協力を</p> <p>37.5℃以上の発熱の方はご入場できません。</p>	<p>スマホで対策</p> <p>岐阜県 感染症警戒 QRシステム 接触確認アプリ COCOA</p>	<p>掛け声は控えて</p> <p>会話もできるだけ控えましょう。</p>	<p>花束受取NG</p> <p>プレゼント等もお受け取りできません。</p>
--	---	-----------------------------	--	---	---------------------------------------	---

一冊の名作は人生を語り、一曲の名曲は人生を謳う

—— 今をときめく人気作家×アーティストによる珠玉のトーク&コンサート

第1部：トーク・ステージ	林真理子さんが語る～本とオペラのある人生
第2部：コンサート・ステージ	林真理子さんがセレクトする～オペラの名曲たち
第3部：クロストーク・ステージ	オペラに生きる人たちとの対話
第4部：プレゼント・ステージ	出演者から贈るプレゼント曲



林 真理子 [作家] Mariko Hayashi

昭和29年(1954) 4月1日、山梨県に生まれる。
昭和51年(1976) 日本大学芸術学部文学学科を卒業。
コピーライターを経て、
昭和57年(1982) エッセイ集『ルンレンを買ってうちに帰ろう』を出版。
昭和59年(1984) 処女小説『星影のステラ』が直木賞候補に選出されたことを機に、執筆業に専念。
昭和60年(1985) 『最終便に間に合えば』『京都まで』により第94回直木賞を受賞。
平成7年(1995) 『白蓮れんげん』により第8回柴田錬三郎賞を受賞。
平成10年(1998) 『みんなの秘密』により第32回吉川英治文学賞を受賞。
平成12年(2000) 直木賞選考委員に就任。他、数々の文学賞の選考委員を務める。
平成23年(2011) レジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ受賞。

平成25年(2013) 『アスクレピオスの愛人』により第20回島清恋愛文学賞を受賞。
平成30年(2018) 紫綬褒章受賞。
令和2年(2020) 「同一雑誌におけるエッセイの最多掲載回数」としてギネス世界記録™認定。
令和2年(2020) 第68回菊池寛賞受賞。
著書
『ミカドの淑女』『女文士』『不機嫌な果実』『着物をめぐる物語』『年下の女友たち』『anego』『アッコちゃんの時代』『ウーマンズ・アイランド』『RURIKO』『下流の宴』『本朝金瓶梅』『秘密のスイーツ』『六条御息所源氏がたり』『野心のすずめ』『正妻』『STORY OF UJI』『ビューティーキャンプ』『我がパラダイス』『西郷どん』『愉楽にて』『女はいつも四十雀』『綴る女』『夜明けのM』『美女ステイホーム』『小説8050』等



小林 沙羅 [ソプラノ] Sara Kobayashi

東京藝術大学及び同大学院修了。2010年度野村財団奨学生、2011年度文化庁新進芸術家在外研修員。2014年度ROOMミュージックファンデーション奨学生。2010～15年ウィーンとローマにて研鑽を積む。2006年『パステリアンとパステイエンヌ』でデビュー後、東京芸術劇場『トゥーランドット』リュウ、兵庫県立芸術文化センター『こもり』アデーレ、『魔弾の射手』エンヘン、新国立劇場『パルジファル』花の乙女等に出演。2012年ブルガリア国立歌劇場『ジャンニ・スキッキ』ラウレッタで欧州デビュー。2015及び2020年野田秀樹演出『フィガロの結婚』ソザンナ、2017年藤原歌劇団『カルメン』ミカエラ、2019年全国共同制作オペラ『ドン・ジョヴァンニ』、2020年には『紅天女』タイトルロール役等話題作に続々出演。2021年全国共同制作オペラ『夕鶴』、アクリエひめじ『千姫』への出演も予定されている。
最近では自身のYouTubeチャンネルにて生配信を行うなど、新しい取り組みも始めている。
2019年11月、日本コロムビアより3枚目のCDアルバム『日本の詩(うた)』をリリース。
2017年第27回出光音楽賞受賞。2019年第20回ホテルオークラ賞受賞。
日本音楽アカデミー会員。藤原歌劇団団員。大阪芸術大学准教授。



望月 哲也 [テノール] Tetsuya Mochizuki

東京藝術大学卒業。同大学院及び二期会オペラスタジオ修了。文化庁在外派遣研修員としてウィーンに留学。国内では東京二期会『皇帝テイトの慈悲』タイトルロール、新国立劇場『夜叉ヶ池』晃、『魔笛』タミーノ、『サロメ』ナラポルト、びわ湖・神奈川県民ホール『ラ・ボエーム』ロドルフォ、びわ湖ホール『ワルキューレ』ジークムントのほか、18年C.デュトワ指揮『サロメ』(上海公演)ナラポルトに出演。近年では20年新国立劇場『アルマゲドン』(世界初演)に続き、21年オペラ夏の祭典『マイスタージンガー』ダーヴィットで出演予定。
コンサートでも『マイア受難曲』『ヨハネ受難曲』のエヴァンゲリスト、『メサイア』、モーツァルト/ヴェルディ『レクイエム』など、レパートリーは30作品以上にもわたり、サヴァリッシュ、アシュケナージ、C.ミソフン、小澤征爾等の著名指揮者と共演。17年からギターとの共演で『シューベルト三大歌曲集』シリーズを展開。CDは『Il mio tesoro』、『Amarilli』に続き、第三弾『ひそやかな誘い～R.シュトラウス歌曲集』をリリース。豊かな美声が注目の男声オペラユニット『IL DEVU』ならびに『MOZART SINGERS JAPAN』メンバー。国立音楽大学および大学院准教授。二期会会員



河野 紘子 [ピアノ] Hiroko Kohno

札幌市出身。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学を経て同大学研究科を修了。これまでに『ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン』『東京・春・音楽祭』などの音楽祭や、テレビ朝日『題名のない音楽会』、NHK-FM『リサイタル・ノヴァ』などに出演。声楽・器楽などとのアンサンブルに定評があり、多くのアーティストとの共演を重ねている。ソプラノ歌手小林沙羅氏のアルバムや数々の合唱団との録音、また作曲家 池辺晋一郎氏の室内楽作品集『さんごじゅの花』に、表題作とピアノソロ曲が収録されるなど、CD録音にも多数参加している。2019年には歌曲とピアノソロを交えたセルフ・プロデュースのコンサートを企画し好評を博す。桐朋学園大学声楽科嘱託演奏員、二期会研修所ピアニストとして勤務。また『のためかンタービレ』の主人公(上野樹里)の手・音の吹き替え、現場での指導を担当するなど、多方面へ活動の幅を広げている。



浦久 俊彦 [ナビゲーター] Toshihiko Urahisa

文筆家、文化芸術プロデューサー。パリを拠点に文化芸術プロデューサーとして活躍。帰国後、三井住友海上しらかわホールのエグゼクティブ・ディレクターを経て、現在、浦久俊彦事務所代表。一般財団法人欧州日本芸術財団代表理事、代官山未来音楽塾塾頭、サラマンカホール音楽監督、三島市文化アドバイザーなど、その活動は多岐にわたる。著書に『フランツ・リストはなぜ女たちを失神させたのか』、『悪魔と呼ばれたヴァイオリニスト』(以上、新潮社)、『13億年の音楽史』(講談社)などがある。2020年6月に『フランツ・リストはなぜ～』の韓国語版『フランツ・リスト～ピアニストの誕生』が、韓国で出版された。最新刊は『ベートーヴェンと日本人』(新潮社より2020年11月に刊行)。未来の音楽について問う企画『ぎふ未来音楽展2020』が、サントリー芸術財団第20回佐治敬三賞を受賞した。
公式ホームページ: <http://www.urahisa.com>

サラマンカメイトのご案内

特典

- チケットの先行販売
- チケットの割引(1公演2枚まで)
- ダイレクトメールによるコンサートのご案内
- グッズコーナーでの割引

※お電話(058-277-1110 入会申込書を郵送)およびインターネットでも受付しております。
※年会費2,000円
※入会申込書は、サラマンカホール チケットセンターにご用意しています。
※年会費の口座振替もご利用ください。

交通アクセス・駐車場

公共交通機関

- JR岐阜駅(北口)より「岐阜バス」で約20分
- 名鉄岐阜駅より「岐阜バス」で約25分
- JR西岐阜駅(南口)より「西ぎふ・くるるバス」で約12分
- JR東海道本線・名古屋駅から西岐阜駅まで約23分

自動車

- JR西岐阜駅から車で約5分(南口タクシー乗り場より約2km)
- JR東海道新幹線・岐阜羽島駅および名神高速道路・岐阜羽島ICより車で約20分 ●無料駐車場完備

終演後に西岐阜駅まで無料マイクロバスを運行します 正面玄関前(北側)から出発します。

客席のご案内

客席のご案内

バリアフリー

ステージ

バリアフリー